

令和6年度 上野原市市民活動支援事業一覧

番号	年数	事業名称	申請団体	団体概要	過去の活動実績	事業概要
1	1	上野原アマチュア無線クラブ局運営維持費	上野原アマチュア無線クラブ	アマチュア無線の普及と無線技術の向上を目的として	1 毎月第2火曜日クラブミーティング 2 毎月7日 危機管理室の代行で、上野原市地域防災計画で締結したアマチュア無線局に対し試験電波の実施 3 アマチュア無線フェスティバル（ハムフェアー2023）参加 4 令和5年度上野原市防災フェスタにおいて、アマチュア無線を活用した情報収集訓練を実施 5 講師を招いて電波法改正事項についての講習会の実施	アマチュア無線は、無線電波を使ったコミュニケーションと技術探求の趣味です。 多くの方が、国内・国外との交信や無線通信技術への興味による通信にチャレンジしています。 災害時の情報収集等に活用するため、毎月7日には危機管理室の委託により地域防災計画により指定した無線の情報提供締結者による試験を実施しています。
2	1	防災リーダー支援の会	防災リーダー支援の会	地元の自治会及び自主防災組織等に対し、ボランティアの一環として、フローアップ支援活動を通じて、専門分野での経験や技術・知識等を提供し、共に防災・防火の向上に努める事を目的として発足した。	発足したばかりで実績はないが、市防災のために支援していきたい。 1 防災リーダー等に対する支援を主な活動とする。 2 民間組織として、ボランティアで支援を行う。 3 支援先は市役所又は市内とする。 4 資機材等は、指導事項等を市と協議し決定する 5 地区防災組織からの指導要請があれば、事前に市と協議し決定する。	上野原市地域防災リーダーが3年間で計112名が誕生しており、地域防災力の強化を図り、地域において積極的に防災活動に携われるよう防災計画の作成や防災訓練の企画運営、災害時に必要な避難誘導や救出救護活動の指揮、避難所の開設、運営等について助言等支援を行うため、防災経験者が地域防災リーダーにフォロアップする目的で発足したため、会の活動費に活用する。
3	1	たんぼぼ会	たんぼぼ会	図書館ボランティアとして、絵本やお話しの楽しさを子供達に伝えて、地位の団体・学校への協力	現在は、秋山小学校、上野原小学校で読み聞かせ、図書館まつりで影絵、大型紙芝居、ペープサート等を上演し、協力	現在は、秋小、上小1、2年、やまびこ学園で秋山保育所読み聞かせ 図書館まつりで、影絵、大型紙試合、ペープサート等を上演し、協力 11ヶ月検診ブックスタート協力
4	1	コモアアコースティックライブ	コモアアコースティッククラブ	コモア住民で楽器の独奏・弾き語り・バンド・コーラス等の活動を行っている人たちとの交流、親睦を図る。	・23回目ライブ 2024. 10. 29 3丁目集会場 ・22回目ライブ 2024. 6. 4 コモアプラザレンタルルーム ・桜の里慰問ライブ 2022. 12. 18 ・スマイルフェスタ 2022. 10. 30 ・コモア敬老会ライブ 2019. 9. 15 ・やすらぎ荘慰問 2019. 8. 24 ・桂川フェスティバル 2019. 5. 11 他	コモア地域内を中心として、コモアアコースティッククラブ活動を春、秋と年会2回実施。 他に、コモア敬老会や病院、介護施設等の慰問ライブを実施。
5	1	古水路見学ツアー	芦垣観光協会	芦垣地区の景観や歴史的建造物を観光資源として捉え、それを世に知らしめて地域社会に貢献する。	実績はまだなし	芦垣地区に江戸時代末期からある水路を紹介する観光ツアーを実施する。
6	1	上野原で「第九を歌おう」会	上野原で「第九を歌おう」会	上野原市の文化活動推進の一環として、老若男女が集い合唱の楽しさや歌う喜びを共有し、参加者の親睦もはかりながら、生涯学習の場づくりの一助になることを期待するとともに、さらに発展させ市民活動の活性化を図れることを願い設立しました。	実際の活動は、1月より開始し、月2回程度の練習会を実施し、3月23日（土）に、56人による第1回の発表会を実施した。 当日は「クラスペディアハーモニー」吹奏楽団の第二部の中での共演発表でしたが、文化ホール（もみじホール）が満員となり盛会の内に終了することができた。	今年度は5月以降、月2回程度の練習会を予定し今年度事業としては、練習の成果を11月に開催される市民合唱連盟の市民合唱祭に合わせ発表会を考えている。 また、講師を招聘し、よりレベルアップした活動を考えている。 これらの事業を通して、異年齢交流や健康増進に寄与できるような活動にしていきたい。
7	1	環境美化活動	上野原有機農業会	環境の保全に資する農業生産活動 地域の環境美化活動	梅林の再生 蓮池作り 荒地の整備	荒地に花を植えて素晴らしい眺望にする事。
8	1	多世代交流を生み地域を盛り上げるチアダンス活動	うえのはらアップフィールド	チアダンスによる地域交流を生み出し、地域を応援する。 施設訪問、地域イベント参加による住民応援。	2023年9月：おまつりローグ参加	・住民同士のつながりを作る。 ・子供から高齢者まで多様なメンバーを募集する。 ・福祉施設等への訪問。 ・地域イベントへの参加。 ・上野原市の魅力紹介、発信。
9	1	2024年度 第25回コモア秋祭り	コモア秋祭り実行委員会	1996年、当時小学生の子供を有するコモア在住の有志が中心となり、子供たちの思い出になるようなイベントを立ち上げたいとして	1996年より毎年開催しており、コロナ禍前の2019年まで毎年連続して23回開催。 内容としては、子供・来場者向けイベント（輪投げ、くじ、スーパーボールすくい、ビンゴ）、子供神輿・山車巡行及び大人神輿渡御、など コロナ禍で中止や縮小を余儀なくされたが、昨年度の試行開催をへて、本年度は従来の内容で第25回の実施を計画。	毎秋に地域とその周辺（対象は地域や市内に限定せず）の子供達対象の秋祭り開催。 内容は、模擬店（くじ引き、スーパーボールすくい、輪投げ）、子供神輿、山車巡行、ビンゴ大会、大人神輿渡御。

令和6年度 上野原市市民活動支援事業一覧

番号	年数	事業名称	申請団体	団体概要	過去の活動実績	事業概要
10	1	親子サークル	なないち	地域の人々と密接に関わり子育て共同体をつくること	0～2歳児の子どもとその親子を対象とした親子サークル活動 ◎屋外自然遊び ・桂川や公園にて自然遊び ・市内のサークル（冒険遊び場プレイパーク） ・こども円（こども園児）との共同開発 ・やまはた農園との共同開発 ◎イベント ・夏祭り/ハロウィンパーティ/クリスマス会 ・市内イベント（ひなたぼっこしようよ）出店（おもちゃ絵本交換会） ◎プロ・アーティストによる講座 ・助産師による講座（食養成講座/体の見立て方講座/性のお話会/災害対策講座） スポーツインストラクターによる講座（ベビースイミング講座） ・プロカメラマンとの共同開発（写真撮影会） ・ピアノ教師による講座（リトミック教室） ・編み物講座 ◎文化継承活動 ・市内のサークル（和みなかよしクラブ）との共同企画（酒饅頭作り見学）	市内外の親子（0～6歳児メイン）を対象にしない施設を利用したイベントや体験活動を企画・運営
11	1	環境問題に取り組む	5Rサストモ	ゴミ減量化、特に生ゴミの減量化を中心に身の回りのことから地球温暖化など環境問題に取り組む。	・各地の取り組みの調査・調査 ・小菅村生ゴミ処理施設見学。担当職員に話を伺う。 ・地域のイベントに参加。ブースを出し展示・広報活動 ・市のオータムフェスタで、環境課主催のワークショップへの協力 ・市長訪問、担当職員の方とも懇談。 ・クリーンセンター訪問。 ・市内の他の活動グループと共催で環境問題学習会。	ゴミの減量化、特に生ゴミの減量化を目指す。そのため、学習、見学会、広報活動をすすめる。
12	1	コシアブラの栽培方法の研究	いいお里山	草刈りをして地域を綺麗にする 杉の木など伐採して、日当たりをよくする 花粉を減らす 地域を明るくする	年数回 河川の草刈り 年5～6回の杉の木などの伐採作業 ボランティアで危険な作業をしている	コシアブラの栽培研究 現在、杉が増えている場所の杉の木を伐採して、コシアブラの苗を植える
13	1	「せいだ芋」のブランド化	上野原せいだプラント	「せいだ芋」で町おこし	○沿革 2020年3月：「上野原せいだプラント」発足 2020年9月：「せいだ芋のポテトフライ」発売 2023年9月：「せいだ芋のブランド化」が上野原市「まだ、知らないだけ。」プロジェクトに採択 2024年1月：上野原市長との新春鼎談に参加。「上野原せいだ芋」のブランド化に向けた取り組みが指導 2024年2月：上野原市立図書館「英語おはなし会・特別版～せいだ芋のはなし～」を後援 2024年3月：山梨県富士・東部濃務事務所と「せいだ芋」の調査栽培開始、市内生産者13団体と連携した契約栽培を推進 2024年4月：龍泉寺「芋大明神祭」を後援 ○メディア掲載実績 https://om-nagaoka.com/news/media/	2023年9月からは上野原市「まだ、知らないだけ。」プロジェクトのパートナーとして「せいだ芋のブランド化」に取り組んでいます。伝統野菜「せいだ芋」を新たに「上野原せいだ芋」として、上野原の魅力を伝える“地域ブランド”への育成を行っています。上野原市と行っている「上野原せいだ芋」の歴史・文化価値の明文化資料、おいしさの理由を見出すための調査栽培やアンケート等の結果を活用し、「上野原せいだ芋」の周知活動を行います。そして、その活動を通して、上野原の魅力の発信と地域活性化を目指しています。
14	1	富士山景観スポット（桃太郎天空の鳥居）整備事業	山梨の桃太郎伝説を伝える会	別紙規約のとおり	当該事業実施値への作業道工事（約60m）及び、花桃植樹（30本）を実施した。	能岳周辺の登山道沿い富士山絶景の民有地に地域活性化の施設として現場の木材を活用して、赤鳥居を建造すると共に花桃を植樹し新たな富士山眺望撮影スポットを整備する。
15	1	ウクレレ マハロ	ウクレレ マハロ	音楽を通じて交流の輪を広げ、演奏する楽しさを共有することで、地域住民が日々の活力を見出すきっかけ作りの場となる事を目的として設立した。	定期練習（毎月4回程度） 演奏依頼：高齢者施設（デイサービスこつぶ）、秋山保育所 イベント参加：ちくちく会、上野原アートクラフト市、秋山ふるさと祭り（台風により中止） 懇親会：お花見、忘年会	ウクレレを伴奏に、動揺からJ-pop、演歌など、さまざまなジャンルの歌を歌いともに音楽を楽しむことで交流を深め、地域活性化を図る。

令和6年度 上野原市市民活動支援事業一覧

番号	年数	事業名称	申請団体	団体概要	過去の活動実績	事業概要
16	1	吹奏楽を通した地域活動	クラスペディアハーモニー	上野原市で吹奏楽を学んだ子供たちが出身中学校、高校の卒を超えて音楽を通じて集まった団体。市内での演奏会や地域移行を見据えた中学校との合同練習、施設への訪問演奏、市民対象のコンサート等、団員個々の力をつけていくことは勿論、市民に還元できる団体を目指す目的で設立した。	・上野原市吹奏楽フェスティバル演奏 ・上野原市盆踊り演奏 ・小学校演奏 ・定期演奏会 ・地域の中学校との交流（合同練習、演奏） ・施設での訪問演奏	1 地位金文化活動を向上させるため、演奏活動を通して地域貢献を行う。 2 部活動の地域移行を見据え、上野原市内にある中学校や高校との合同練習、演奏などを行い、交流を図り文化活動の裾を広げる。 3 1、2を行うためにも個々の技量、団のレベルアップを図るため、講師招聘をし、力をつけていき息の長いバンドを目指す。
17	3	にこにこママクラブ	にこにこママクラブ	・子どもたちの健やかな育ちを願い、地域の子育てをしている人（親、祖父母など）達の情報交換、相談、仲間づくりを行う。 ・子ども達の多様性への理解を深め、関わる人達を増やしていく。	・たまひよママのお茶会（2003～2018） ・たまひよママのお茶会DX（2010～現在） ・にじのかけはしキャラバン隊公演会（上野原市・甲府市にて開催） ・市内イベントに出展参加（廃校フェス・桂川フェス・肉フェス） ・入学準備ワークショップ（入学前に備えて、子どもの取説作り） ・「ぶんぶぎ うえのはら」未熟児親子教室開催（2022. 4～） ・「作ろう倶楽部」年2回＋みんなの発表会（2022. 9～） ・「チア教室」月2回（2022. 12～） ・「ぶりこらあごむ」月1回不登校支援（2023. 9～）	・たまひよママのお茶会DX ・ぶんぶぎ うえのはら ・みんなのクラブ活動 ・不登校の親子のサポート活動 など
18	3	コモア★Smile☺ Festa★	コモア★PowerUpプロジェクト	「コモア★Smile☺Festa★」の開催により、コミュニティの結束を深め、地元に愛着を持ち、さらなる地域活性化に努める。また、世代を超えた交流の場を創出し住民同士がつながりあう機会をつくる。	・2021 市民活動補助金の交付を受けるがコロナ禍により中止、補助金は返納する。 ・2022. 10 「コモア★Smile☺Festa★」コロナ対策のうえ開催する。 2023. 4 コロナ対策を緩和して開催 2023. 10 開催 来場者数、約300人	①子ども対象としたイースター、ハロウィンイベントやワークショップ ②コモアしおつ時計の公園のメイン会場に、飲食屋台販売、手作り品などの屋台販売、フリーマーケット ③ダンスパフォーマンス、演奏などステージ発表
19	3	脱炭素の実現を進める	脱炭素の実現を進める会	上野原市の2050年「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、脱炭素社会の実現を進めるために、市民によるその実行行動及び広報活動を行うために設立して今年が3年目である。	市民として、脱炭素社会の実現を進めるための身近な行動を起こすことから始めており、昨年は、雑誌、PETボトルを対象にした第2弾チラシ（*）を、市の生活環境課から回覧板として配布した。 （*）雑誌1kgをリサイクルすると、PETボトル1本をリサイクルすると各々CO2が340kg、70g削減できる。また、コモアでのコモアフエスタ及び市の農業祭フェアに、脱炭素運動の活動として、第2弾チラシ内容を、実物を持ち込んで大きく展示した。さらには、ゴミの減容化がCO2削減にもつながるので、クリーンセンターを訪問し、現状のゴミ集積方法、PETボトルの圧縮梱包化等を見学し、今後の減容化について討議した。	1. 市民に向けた脱炭素社会の実現に向けた、身近な行動のできるチラシ（第3弾）を作成する（市の生活環境課と共同） 2. 市民への脱炭素を含む環境問題の広報活動として、コモアフエスタ、市の農業祭、また市役所内通路、ふじみセンター内通路等で展示会をする 3. 脱炭素に関する講演会を、生活環境課と開催する
20	3	上野原ふれ愛盆踊り大会	上野原ふれ愛盆踊り大会実行委員	日本の伝統文化を守り、「盆踊り」を通じて、地域のふれ愛・絆を深める。	上野原ふれ愛盆踊り大会の実施	市役所センタープラザ及びもみじホールを利用し上野原市民のふれあいを大切に地域の活性化を図るイベント
21	3	カワニナ養殖場の整備	いいじゃん・蛍	蛍の住む環境を通して河川環境を見つめ自然を楽しめる場所作りをする	①2022年～2023年 白山橋下の水路付近に蛍観賞用ステージ設置。また、河川の清掃、草刈り 駐車場の整備他、カワニナにエサを与える。 ②2023～2024年3月末 むじな沢川中流域に蛍観賞用のステージ設置。付近の篠やぶ、竹林の整備。駐車場の整備他カワニナにエサを与える。メンバーだけで鑑賞催し実施	蛍のエサとなるカワニナを増やす為の水場を造る。 蛍鑑賞場内の湧き水を利用してミニビオトープを整備したい。

令和6年度 上野原市市民活動支援事業一覧

番号	年数	事業名称	申請団体	団体概要	過去の活動実績	事業概要
22	3	景観整備事業	里山クラブ	西原地区の地域資源である里山周辺等の整備を進め、地域に活力を与え持続可能な住みやすい魅力的な地域を構築し、交流人口等の増加から移住・定住の促進に繋げ地域を発展させることを目的とする。	2021年度から活動を開始し、市民活動支援事業として権現山登山道周辺整備事業及びもみじ庵周辺整備事業を実施した。他の事業としては、花桃、枝垂れ桜植樹事業を行った。	西原地域においては、これまで地域活性化推進協議会やNP0法人など各種団体等による地域づくりが進められてきた。このような中「里山クラブ」は地域との連携を図り、地域の価値を一層高めるため景観整備事業に取り組む。地域の資源である里山周辺の整備を進め、魅力的な地域を構築し地域に活力を与え交流人口等の増加から移住・定住の促進につなげ地域を発展させる。具体的に本年度は、昨年予算不足により実施できなかった権現山登山道周辺整備事業に取り組む。
23	2	じょいそーらん	じょいそーらん	地域の活性化と全ての人が元気で楽しく過ごせることを目的として設立しました。	・じょいそーらん祭開催 ・大月さくら祭等様々なイベントに参加 ・テレビ朝日「題名のない音楽会」出演 ・YOSAKOIソーラン祭りファイナルステージ進出・優秀賞 ・原宿表参道元氣スーパーよさこい高知県知事賞	演舞を通じて上野原を元気で活気あふれる市にするために様々なイベントに参加し人との繋がりを深め各地にPRしていきます。
24	3	子どもの健全育成のための勉強支援と無償の食事提供事業	こどもの部屋運営委員会	■子どもの健全育成のための勉強支援と無償の食事提供事業を実施することにより、①子どもたちへの勉強やお遊び支援により、工夫や考える力をはぐくみ、毎日の勉強が楽しくなるようにする。 ②食事の無償提供により、相対的貧困家庭への経済支援を目的とする。	■2021年7月3日（土）から渡辺事務所で事業を開始。 ・現在は毎月第2、第4土曜日に変更。 ■現在登録人数14人の児童が在籍しており、午前中、宿題勉強。午後は、お遊びや野外実習を含む体験をして楽しく過ごす。特に自分で工夫をすることを誘導する。例えば、次のようなもの。 ・近辺のエノコログサ（猫じゃらし）を取って、その穂でウサギを作ったり、錯視体験の首振ドラゴンなどペーパークラフトに挑戦。また、秘密の場所で四つ葉のクローバーを採取して押し葉にしてしおりづくりも実施した。 ・竹箒作り、どんど焼きの団子作り、農作物の収穫体験などの上野原市の農業実態や伝統的な遊び体験。さらに桂川の清掃なども体験し環境への意識を高めている。 NHKの「ピタゴラスイッチ」で放送された科学実験などを通して体験し、科学的思考の養成。 ・時節柄、新型コロナウイルスの絵（特にスパイクタンパクなど）を、雑草の「くつつき虫」の宮「ブラタナスの実」を見せて、描かせたり、なぜ、新型コロナウイルスは伝染性が強いかなど、体験的に理解させる。 児童の頭脳成長に効果が高いといわれる「間違え探し」やパズルなども高齢者と一緒に頑張っている。 ・職業自習として、パン、ケーキ作りも「子どもたちで作る」を挑戦している。 ・上野原市在住のろう者を先生として手話を学んでいる。 ・ロシア、ウクライナ戦争の実態を学ぶために、「北風と太陽」の紙芝居や、「世界で一番強い国」という絵本などを学ぶ。また、地球儀でウクライナの国の位置を学ぶ。憲法九条の音読を通して日本の平和主義を学んでいる。	■対象者：上野原市在住の、小学生以上、中学生以下の児童、生徒および、その保護者、そして、保護者がいれば、小学生未満の児童、地域の高齢者や障がい者などのふれあいを通して世代間交流とノーマライゼーション（いつでもだれとでも）交流ができることを目指します。→「食べて、学んで、遊んで、交流して」 ■内容：学校の宿題支援、紙芝居、読書、お話、桂川の清掃、パン作り、野外調査、お遊びなど。ただし進学塾ではない。 ■昼食、おやつ、お茶なども無償提供。
25	3	上野原ツーリズム	テイスト・オブ・ウエノハラ	「せいだイモのはなし」の英語版を制作し、郷土の歴史のストーリーを軸とした、国際交流をしながら、町を活性化することを目的とする。	2023年10月14日：龍泉寺にてお寺マルシェ（動員約300名） 2023年12月：上野原市立図書館にて英語おはなし会 2024年2月：上野原市立図書館にて英語おはなし会特別版（上野原せいだプラントと共同開催）	インバウンド及び日本在住の外国人に上野原の歴史、伝統文化、各所等のまちの魅力を伝えるイベントの開催。 SNSによる上野原の魅力のPR。上野原市内の子供に向けての国際交流イベント、ネイティブスピーカーによる英語の読み聞かせなど生の英語にふれる機会を増やす活動。
26	3	学習支援	学びのLabo	子供の学習意欲向上と継続を目的とする。	コモアしおつ内の集会所を利用した学習会の実施。漢字検定・数学検定の実施（それぞれ年3回ずつ）。	・長期休み中の学習会。 ・漢字検定・数学検定の年3回ずつの実施およびプレ検定の実施。
27	2	うえのはらアートひろば	うえのはらアートひろば	英会話を通して国際感覚を身につけてコミュニケーションを図る。	2006年より18年英会話サークルを作り、高校のALTを講師に毎週Native Speakerとコミュニケーションをしてきた。小学生から大学生、会社員、シルバーなど短期を含め約100名が参加している。年に数回イベントを開催して特に、ハロウィンやクリスマスはパーティを開いた。海外の文化行事などの理解、山梨や上野原の英語による紹介など国際コミュにケーションを継続してきている。	英会話を通して国際的コミュニケーション能力を上野原市民に育成する事業 native speakerと会話する機会を市民に知って頂き、海外の文化や上野原の良さを紹介するなど国際感覚を子供からシルバーまで身につけるための文化事業

令和6年度 上野原市市民活動支援事業一覧

番号	年数	事業名称	申請団体	団体概要	過去の活動実績	事業概要
28	3	英会話による国際交流事業	上野原英会話教室	それぞれ活動しているアーティストが子育てを通して交流を深め、拠点である上野原市で、親子世代を中心に芸術文化にふれるイベントを企画する為に発足。	昨年度『大人も子どもも ひなたぼっこしようよ!』を開催。	上野原市に在住する、全国で活躍するアーティスト達が、市内でも披露できる機会をつくる。主に親子を対象としたイベントを企画し、定期開催。子ども達が芸術文化にふれる体験や、アーティストと身近な環境作りを実施、新たな交流の場を設ける。
29	3	太極拳教室	ゆるやかライフ	住民同士の交流又ひとりひとりの健康維持、増進に取り組む	参加者を募集し、太極拳教室を開いた。（前年度30回実施）	住民を対象に太極拳教室を開く
30	2	大目地区生活支援体制整備事業	大目さくらの会	本会は、上野原市及び上野原市社会福祉協議会と連携して、高齢者、障がい者及び幼少年等の福祉の増進を図るとともに、誰もが住み慣れた地域で、いつまでも暮らし続けられるまちづくりを推進する。	本会は、平成30年10月22日、第1回目の地域づくりワークショップを開催、その後もワークショップを継続し、令和2年2月1日に設立する。その主な事業としては、次のとおりである。 ①毎月第三木曜日に定例会 ②毎週月曜日に紡木長屋交流カフェ・足湯 ③出前講座（上條クリニック医師上條武雄先生を中心とした講演会等）・・・2回 ④青空さくら（大野貯水池堰堤・大目出張所での交流会）・・・1回 ⑤ふれあい支援活動・身近な生活支援活動	本会は、以下の事業を推進する。 1 身近な問題等ニーズのは恵と問題解決の支援 2 医療関係者による生活指導・支援 3 介護施設を利用した交流支援 4 生活支援コーディネーターとの連携による地域づくり等
31	2	日本語教室	日本語教室	上野原在住外国の方々の日本語教育の支援	2019年より、ボランティア数名で外国の方々への日本語でのスムーズなコミュニケーションの向上の為、活動してきました。 結局コミュニケーション向上だけにとどまらず、市役所、銀行関係の書類作成、病気の時の対応、小さなお子さんを持つ方への公共サービスの説明、などなど付加活動が次から次へと必要となっています。	上野原市内に在住している外国籍の外国の方々に日本語教育の指導、及び生活支援
32	2	自主上映会を通じた福祉を考える場づくり	bookmark実行委員会	自主上映会などの企画を通し「生涯福祉」・「地域づくり」をキーワードに多様な主体と連携し、課題を考える主体育成の場を創出する	■bookmark1：令和4年11月5日（土） 自閉症のある妹の日常を撮影したドキュメンタリー映画『ちづる』の上映会とトークセッション 来場者数：105名 ■bookmark2：令和5年5月27日（土） 重度の知的障害のある弟の日常を撮影したドキュメンタリー映画『僕とオトウト』（※）と『ちづる』のW上映会とトークセッション ※山梨県初上映 来場者数：104名	・福祉施設と地域コミュニティとの不和や偏見 ・親なき後の障がい者支援 ・共生社会の実現 ・当事者の家族の日常 等をテーマにしたドキュメンタリー映画の上映会と、監督や関係者によるトークセッションを通して、障がいについて考える催し 「bookmark」を開催する。
33	2	多文化共生社会に向けての居場所づくり	おむすび（英語表記：OMUSUBI）	世代、国籍を超えた交流の場づくり	2023年度 上野原市ゴミ収集カレンダーの多言語化（英語、ベトナム語） 他グループのイベントサポート 市内の外国籍居住・在勤への生活に関わるアンケートの実施	世代、国籍を超えた交流の場づくり ・市内の他のグループとの交流や情報交換 ・他地域での多文化共生に向けた活動の勉強 ・教育機関に関わる方へのアンケートの実施
34	2	出張撮影	スマイルフォトメモリー	市民の笑顔と思い出をかたちに残し上野原の魅力を発信し、また、後世につなげていく。	ブライダル撮影 七五三撮影 ハーフ成人式 卒業袴 など	遠方になくなくても上野原で思い出に残る撮影ができるような活動を行う、また市内には四季折々素晴らしい風情がありたくさんの人に上野原の良いところを知ってもらえるようにかたちにして発信していく。

令和6年度 上野原市市民活動支援事業一覧

番号	年数	事業名称	申請団体	団体概要	過去の活動実績	事業概要
35	2	子育て世代交流事業	mama. to. ko. piece	～ママ、子供・親子で楽しめる活動～ ホっとできる場所を作りたい！ママ同士のつながり、きっかけ作りの場をふやしたく設立	食育&野菜スタンプ コンプチャWS 水遊び&ビーズ遊び デコ巻き HALLOWEENフォトブース おまつりlogue こどもマルシェ スプーン作り ままとこクリスマス会 ままとこホット会	・ママと子供・親子で楽しめるイベント ・支援センターやかるがも（ここあ）教室でのイベント 子育て世代の交流と、ホっとできる場所、きっかけづくりを。
36	3	知ろう！残そう！伝えよう！	風がやさしい道街プロジェクト	地域の活性化	ひなづる姫の旧墓の看板設置など	地層の看板 鎌倉裏街道の看板 秋山の魅力展の開催